

INFORMATION TYPE-Bのモデルハウスが仙台に4月13日オープン!



仙台市の青葉区に、デイトナハウス×LDKの規格住宅「TYPE-B」のモデルハウスがいよいよオープンします。このモデルハウスのテーマは、マットな鉄の素材感や本物感と柔らかい素材のコントラスト。また、インナーガレージや隣接する書斎のリアル感も必見です。まさにクルマ好きご用達仕様です。是非、実物をご覧ください。鉄と暮らすカッコいい生活感覚を実感してください。

全国のモデルハウス情報はコチラから!
daytona-house.com/modelhouse



2Fの寝室から、豊かなデッキテラス越しに海を眺める。まぶしい夏の太陽と室内の落ち着きのコントラスト。まさに陰影の美学。上部はお馴染みの「Rスパン」を利用した吹き抜け空間。この空間の豊かさが心の落ち着きをもたらします。最大宿泊8名までのコンドミニウム。夜は海の幸をふんだんに盛り込んだBBQが楽しみなのです。



1Fのリビング&ダイニング空間からガレージを望む。十分なアイランドキッチンでBBQの下ごしらえも楽しい。ガレージ空間はクルマだけでなく、バイクなら5台まで格納可能な広さを確保。夜はツーリング仲間のバイクを眺めながらのひと時も至福の時間です。ガレージは、ペットの空間にもなります。つまりこの施設はペット可のリゾートなのです。

ツシの壁面は極めて貴重なのです。落ち着いた外観の印象と、どこまでも青い空と海を対比しながら、広々としたルーフデッキで過ごすという趣向。まるで豪華客船の船旅のような時間感覚です。リゾートという日本人は、ともすれば予定を組んで、いろんな名勝地を忙しくまわったりするのですが、この施設のテーマは何もしないこと。隣接するカフェで手作りされる、上質なモヒートでも飲みながら、読書や昼寝をして過ごす。そんな新しいタイプのコンドミニウムなのです。

Monthly Theme

アーリーモダンで構築する海に開かれたモーターリゾート

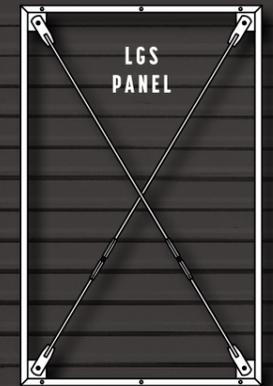
黒い艶消しの骨組みに、スタッコ調で塗られた白い外壁。客船のデッキのような広いルーフデッキで海を見ながら過ごす。アーリーモダンデザインのコンドミニウム型リゾートです。

デザインのトレンドは、何年かおきにリフレインするのが常ですが、変わらぬ人気を維持しているのがドイツのパウハウスで表現されているアーリーモダンです。心が元気に湧き立つようなインダストリアル系の雰囲気とは一線を画して、素材の風合いを残しながらも落ち着いた時間の流れを感じさせる外観意匠。デザイン学校であったパウハウスに、その時間感覚が典型的に表れています。今回は、美しい海に面したモーターリゾートを、このアーリーモダンのデザインラインで考えてみました。このデザインの基調となるリズム感を形成しているのは、何と言っても1F全面を開放したスチールサッシのシャープで硬質な線と、白い壁面のコントラストです。静と動。デイトナハウス×LDKの特長である、オリジナルスチールサッシが、このデザインを再現するのです。アルミサッシのチープな素材感が全盛の世界の中であって、実用的なスチールサ

デイトナが提案する新しい建築のカタチ



CASE 34



96 PANELS

What's DAYTONA HOUSE ?

デイトナハウスを構成するのは、LGSと呼ばれる軽量鉄骨のパネルで、厚さ3.2mm、幅12.5cm、厚み5cmの「Cチャンネル」と呼ばれる部材を、横幅180cm、縦270cmの長方形に溶接して製作しています。対角線のクロスしたパーツは、「ブレース」と呼ばれる筋違いで、力の伝達を受け持つ大切な役割を持っています。「柱」と「梁」と呼ばれる縦と横の部材を使って軸組を作っていく一般的な建築とは違って、デイトナハウスはこのLGS パネルを連結することで住宅、ガレージ、別荘、店舗、マンションなどの様々な建築を可能とする、全く新しいカタチのシステムなのです。つまりこのLGS パネルを使った建物全てがデイトナハウスと言う訳です。パネルの枚数を数えるだけで、建築の広さ、およその予算がイメージできる分かります。パウダーコーティングが施されたその鉄の素材感が醸し出すハードボイルドな空間のテイストも持ち味です。

www.daytona-house.com

INFORMATION LDKinc.

代表: 玉田 敏士
www.ldk.co.jp
03-6228-4933

デイトナをはじめ、カーマガジンでの長期連載、ムック本であるCAR&HOMEにて、常にクルマと住宅の関係について提案し続けてきた建築プロデュース会社 LDK inc. 建築設計はもちろんのこと、建築システムの開発や商品開発も行う。

